



常陽中学校だより No.8 H26.12.16

十二月も中旬になり、寒い日が続いています。これから当分の間、寒くて厳しい毎日が続きます。

12月7日(日)は二十四節気の「大雪」でした。「大雪」は「おおゆき」という意味です。北風が日ごとに強くなり、しばしば大雪が降ります。

生徒会選挙の話

去る5日金曜日、生徒会役員選挙が行われました。来年一年間の、生徒代表が決定したわけです。生徒会執行部は常陽中学校の「顔」です。校外では武庫北小学校や武庫の里小学校へ出向き、後輩に中学校を紹介したり、手本を示したりします。小学生は生徒会執行部を通して常陽中はどんな所だろうというイメージを持ちます。小学校だけでなく、校区の行事に参加し、地域の人達に本校を知ってもらい役割を担っています。また、校内では生活の改善、行事の企画・計画・実行など役割は盛りだくさんです。新役員の皆さんの活躍を願っています。

それから、旧役員の皆さん、この一年間本当にご苦労様でした。中には二年間、執行部を努めてくれた人もいます。執行部のおかげで体育大会や文化発表会が大いに盛り上がりました。清掃活動等をはじめとする地道な取り組みを着実に行ってくださいました。大変だったでしょうが、人のために働き、役に立つことはやり甲斐があります。多分、充実した一年だったでしょう。本当にご苦労さまでした。

期待しています	風紀委員長	二年	和賀井 由也
	図書委員長	二年	池田 健太郎
	体育委員長	二年	松本 康志
	保健委員長	二年	平田 桜雅
	文化委員長	二年	川本 咲来
	美化委員長	二年	菅村 亜香理
	学年代表	一年	森 ひかる
		二年	武林 美音
	書記	一年	松元 衣舞希
		二年	武智 香乃
副会長	一年	白濱 寿夏	
	二年	平田 光咲	
会長	二年	小久保 弥々	
			新執行部

権利の上に眠るもの

現在の日本では当たり前になっている普通選挙は、世界の各国で数多くの実験と挫折を重ねてきた結果できあがったものです。私たちが享受しているあらゆる自由や基本的な人権は先人達が勝ち取ってきたものです。一見して労せずに入れた基本的人権ですが、無関心でいると失ってしまう可能性があります。だから、不断の努力によって保持しなければなりません。

世界に目を向けると、今なお民主主義と普通選挙を願いながら、混迷を続ける国、子供や女性が教育を受ける権利を訴え続ける国があります。私たちが水や空気のようにそこにあるのが当然と考える権利のため苦闘する人々がまだ大勢いるという現実、それらをすでに手にしている私たちに「権利の上に眠るもの」であってはならないとの思いを新たにさせます。

もちろん、中学生に参政権はありませんが、選ぶ側の責任と協力していく姿勢を放棄してはなりません。生徒会選挙を通じてそのことも理解しておいて下さい。

